最近のあなたの悩みを専門家４人が一気に解決！

春の転職スーパーカウンセリング

転職――これを取り巻く悩みは数知れず。「受けても受けても採用されない」「何がやりたいのかわからない」「面接で自分をアピールできない」などなど。そんな読者たちの嘆きに光を与えるべく、編集部は各界のスーパーカウンセラーにご登場願いました。酸いも甘いも噛み分けた、人生の達人たちが11人の悩みを一挙解決！それぞれの視点から鋭く分析する、貴重なご意見を参考にして転職頑張ろうね。

取材・文／川内美紀　撮影／越野龍彦（アトリック・エム）、NORICO-M　イラスト／奥田雅美

先生方の紹介

フェミニストカウンセリングなごやの皆さん

（写真左から）石田ユミさん、佐竹一予さん、川倉康子さん、隠岐美智子さん

女性のためのカウンセリングルームを運営する、プロのカウンセラー集団。生き方や人間関係などで悩む人に、個人カウンセリングをはじめ、グループカウンセリングやその他様々な手法でアドバイスをしてくれる、とても頼りになる存在です。多くの女性に接してきた実績から、豊富な視点に基づくアドバイスをいただきました。

フェミニストカウンセリングなごや

名古屋市千種区末盛通1-17　中久木ビル2階　☎052-763-0011
全て電話申込みによる予約制
開室時間　月～土　10：30～20：00（日・祝はお休み）
料金　個人カウンセリングの場合１回60分4,000円（初回のみ5,000円）その他プログラムにより様々な設定になっています。

住友生命保険相互会社　名古屋すみれい営業課
指導課長　寺田弘子さん

女性営業チーム"すみれい"を束ねるベテラン課長。女性マネジメントのキャリアは既に13年。自身も保母からの転職組ということで、この種のテーマは得意中の得意。企業人としてしっかりとキャリアを積んできた女性ならではの視点で、鋭く、そして愛のあるアドバイスをいただきました。会社側はこう考えているというのがよくわかります。

医学博士・心理学者
森　省二さん

愛知みずほ大学人間科学部教授であり、豊田西病院の医師でもあり、そしてTV出演、講演、本の執筆など、幅広い活躍の先生。とらばーゆ誌上でも、様々な心理テストの製作に御協力をいただき、女性と仕事に関しては経験豊富です。今回はアドバイスの中に心理分析も折り混ぜながらお答え下さっています。

※最新刊「恋の終わりの心理学」（同文書院）発売中

有限会社　占いの玉手箱　主宰
竹村亜希子さん

全国的に講演、雑誌等で大活躍の占い師。個人から大企業まで、様々な対象・状況に関する相談にのる一方で、各種イベントのプロデュースを手がけるなど、マルチな活動を展開しています。とらばーゆでも長い間誌面を飾っていただき、人気を博してきました。ポイントを突いたアドバイスと、運気好転へのきっかけなどについてのメッセージです。

占いの玉手箱　常設コーナー

- ●タロットKey
  丸栄スカイル9階　13：00～19：00　毎週水曜休
- ●タロット10
  丸栄スカイル地下1階　13：30～19：00　第３水曜休
- ●タロQ
  セントラルパーク地下街東側通り　土・日・祝日のみ営業　12：00～18：30

カウンセリングNo.1

24歳　短大卒　失業中

短大を卒業後、メーカーの一般事務に就職しました。そこそこの規模、まあまあの待遇ということで、とりあえず結婚退職までは安泰だと思っていたんです。ところが、４年目になってそろそろ結婚相手を本気で探さなくちゃと考えていたら、突然会社側から解雇通告をされてしまいました。不況、不況と聞いてはいたものの、まさかその火の粉が自分にふりかかるなんて！いま、茫然自失の状態で先のことなど何も考えられません。親に勧められて『とらばーゆ』を買ってみたけど、どう探していったらいいかもわからない。転職という予想外の事態に混乱する毎日です。

寺田先生のお言葉

事務職以外に挑戦するのもいいのでは？

突然の解雇通告をまったく「寝耳に水」と受け止めていますが、おそらく予告や兆候はあったのではないでしょうか。これに気づけなかったのは会社に無頓着だった証拠です。今後はこれまでの仕事を振り返り、合っていたなら事務職を探せばいいですし、思いきって販売や営業を選んで新しい自分を発見するのもいいと思います。が、いずれにしても多少のリスクがあることは覚悟してください。

フェミニストカウンセリングのお言葉

自分にとって仕事は何か、じっくり検討を！

突然の解雇通告に茫然自失。さぞびっくりされているでしょう。でもあなたは、結婚までのつなぎとして仕事を考えていたようですね。そんなあなたを、会社側はどのように見ていたのでしょう。職場は結婚までの安泰の場でしょうか。結婚とは、仕事とは、あなたにとって何ですか。親に言われてじゃなく、あなた自身が本当にどうしたいのか、一度じっくり考えてみてください。

森先生のお言葉

ポジティブに切り抜けていくことが大切。

あなたは、ある程度経済的に恵まれた家庭環境に育ったお嬢さんかと思われます。年齢よりも幼く見え、甘えっこで楽観的、明るい性格。けれど内面にはデリケートなところもあるようです。しかもこれまで順風満帆にどっかり浸って過ごしてきたために、世間や自分を厳しく判断するまなざしが育っていません。転職も結婚もうまく乗り切っていくには、ポジティブな考え方、臨機応変さが大切です。

竹村先生のお言葉

とりあえず旅行に出てリフレッシュを。

世の中には「まさか！」と思うことが結構あるもの。まさか自分が、など特別なケースを考えないこと。よくあることだと納得するのが一番です。そう割り切ったうえで、とりあえず旅行に出ることをオススメします。気分転換をはかれば運気も好転するはず。旅先では素敵な出会いがあるかも知れないし、リフレッシュしてお見合いでもして、永久就職するという方法もあります。

編集部からちょっとコメント

不況はもはや他人事ではなく、誰もが認識しておかなければならない現実です。そのことはほかの読者の皆さんも考えておいてくださいね。そのうえで仕事に対する姿勢を見直してみましょう。もう、出勤さえしていれば給料がもらえる、なんて気持ちは通用しないのです。あわてる前に一生懸命になって。

カウンセリングNo.2

26歳　高校卒　一般事務

高校の進路指導のままに就職し、毎日何となく一般事務の仕事を続けてもう8年目。周囲の同級生や同期生たちは8割が結婚し子供もいます。自分も25歳までには結婚するつもりでしたが、チャンスもなく、今も予定はありません。いっそのこと仕事に生きてみようと考えるのですが、資格もなければ人に言えるような経験もない状態。やってきたのはコピー取りと伝票整理、それに電話応対のつまらない仕事だけです。だから自分が何に向いているのかわからないし、何がやりたいのか聞かれても答えることができません。でもこのままじゃダメな気がして…。

寺田先生のお言葉

まだ26歳。心構えひとつで向上できるはず。

かなりマンネリ化が進んでいますね。そうなるにはきっと原因があるはず。でも事務の仕事は本当につまらない仕事ですか？企業にとっては事務も大事なポジション。要はあなたの心構え次第。それによってレベルアップは可能なのです。資格がなくてもいいではありませんか。かえって無い方がチャレンジしやすいかも。生きることに甘ったれないで、世間の厳しさを知ることも必要なのでは？

森先生のお言葉

先を急がないこと。結婚を望むならお見合いで。

たぶんあなたは生真面目な父親のもとに育ったのではないでしょうか。それだけに柔軟性にはやや欠けるものの、マイペースで根気がよく、何事も長続きさせる人だと思います。ですから転職も結論を急ぐことなく、少し刺激のある職種や地域の仕事を選んで才能を発掘してはどうでしょう。結婚も適齢期というだけで急がないで。それでも望むなら、平凡な主婦になるのを覚悟してお見合いを。

フェミスト カウンセリングのお言葉

受け身ではなく、主体的な人生を選んで。

あなたの主体性はいったいどこにあるのでしょう。きっとあなたは過去も現在も、自分で選ぶことなく過ごしてきたのではないでしょうか。だから8年の経験がつまらないと思えてしまうのです。これからは受け身ではなく、主体的に選び取る人生にしてみませんか？1つ1つの経験が生きるためには、自分の意志で行動を起こすことが大切です。なんとなく流された8年を挽回してください。

竹村先生のお言葉

未経験を経験に変えれば、何らかの発見がある。

人間はいくつになっても、自分のやりたいことがわからないもの。かの孔子でさえ50歳にして天命を知ったほどですから！したがってこれまで挑戦したことのない仕事を片っ端から経験してみては？そのうちに何かを発見し、そこから出発があると思います。ただ、電話応対の仕事は会社のイメージを左右する重要なポジション。それをつまらないと考える、あなたの方がよっぽどつまらない！

編集部からちょっとコメント

たぶん、皆さんのなかで一番多い悩みではないでしょうか。26歳は気持ちも立場も宙ぶらりんなのかもしれません。でも、結婚と仕事は別ものですから、結婚できないから仕事を選ぶというのもおかしな話だと思います。森先生もおっしゃっていましたが、仕事がうまくいけば恋愛もうまくいく、そういうものです。

カウンセリングNo.3

ファッションデザイナーになりたいんだけどぉ
だめならぁ
休日が多くて
お給料の多い
大手があ…

22歳　高校卒　一般事務

昔からファッションに興味があり、その関連に進みたかったのですが思うような求人がありませんでした。それで大手の企業に就職したら事務職に配属されることに。でも、どうも上司とウマが合わず転職したいと考えています。「とらばーゆ」のアンケートで「やってみたい仕事は？」と聞かれて「ファッションデザイナー」とは答えたいけど、それはあくまでも憧れというか夢。実際に転職を探すときの条件は、休日が多くて給料のいい大手です。とはいってもなかなか採用されません。決まらないままにもう半年。早く転職したいのですが…。

寺田先生のお言葉

人間関係による転職は、どこにいっても同じ。

会社で働くということは、労働や能力を提供して給料という報酬をもらうこと。ですから仕事には責任がついてまわり、辛いこともたくさんあります。ファッション関係に進みたいと思うのなら、まず余暇を利用して勉強し、センスを磨くことから始めましょう。人間関係という好き嫌いの延長で転職すると、必ず同じ事を繰り返します。これは試練ですから我慢してみることも必要なのでは？

森先生のお言葉

苦労や面倒なことを回避するばかりではダメ。

あなたは快活でワガママな性格であるけれど、どこか寂しい思いを抱いて育ったと考えられます。周囲に対して劣等感があると同時に、少女的なファンタジーを持ち、理想や憧れに対して一途になる根性がありません。どちらかというと外見を気にするタイプですから、面倒なことには関わらない「安易な人間」と言えそう。少しは苦労も覚えないと、転職しても同じ失敗を繰り返すでしょう。

フェミスト カウンセリングのお言葉

意欲や姿勢を明確にすることが先決なのでは。

上司とウマが合わないという理由だけで転職したいと考えるあなた。しかも希望の会社は休みが多くて給料がよくなくては…と選んでいるあなたからは、本当にやりたいこと、どう生きたいかという姿勢が見えてきません。ただ表面的なものに流されて、自分を理解できていないのではないでしょうか。長い人生において、あなたは何をしたいと思っていますか？一つひとつ丁寧に考えてみてください。

竹村先生のお言葉

いまの考えでは、とても運気は向上しません！

甘い！この一言に尽きます。今のままでは、きっとどこの会社も採用してくれないでしょう。どこに行っても一緒。上司とはウマが合わないと思います。なにしろ会社は「遊び場」じゃないんですから。それに、だいたいファッションデザイナーというのは勉強に次ぐ勉強が必要で、一流になるまでは大変なことも多いと思います。現実を把握しないと、一生プータローで終わってしまいますよ。

編集部からちょっとコメント

この女性の場合ファッションは憧れと断言しているので、それは趣味の範囲にとどめておいた方がいいと思います。よく「2番目に好きなことを仕事にしろ」と言いますが、これは、そうしないと辛さを知って嫌いになっちゃうよ、ということ。それほど仕事はシビアです。とにかくOLしてればいいや、と思わないで。